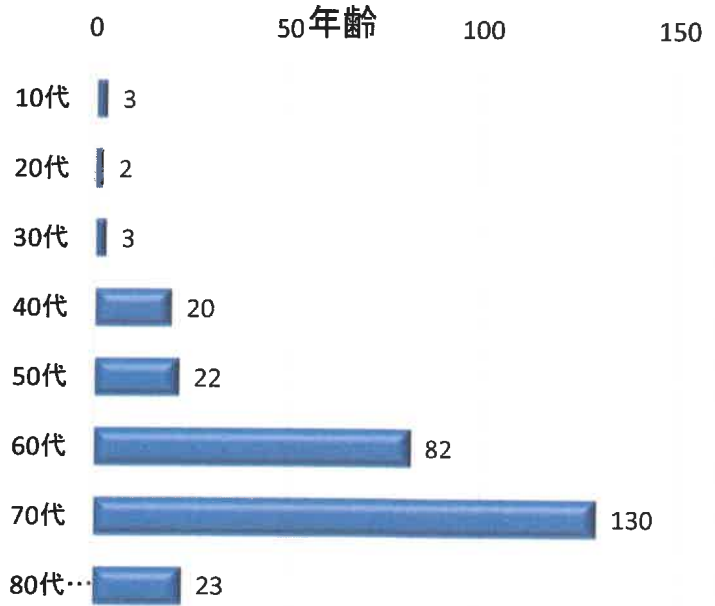


# 「みとり」についての意識調査

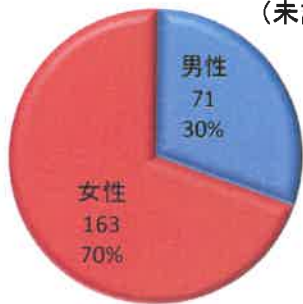
平成29年12月21日

人数 285名

平成29年12月3日  
於：健康フォーラム

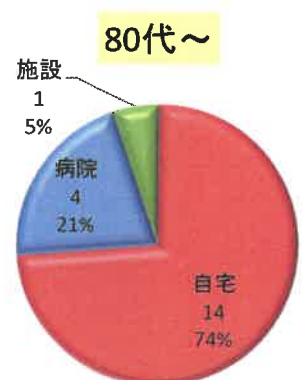
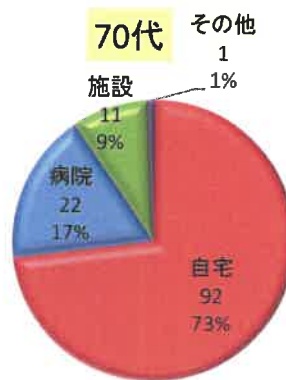
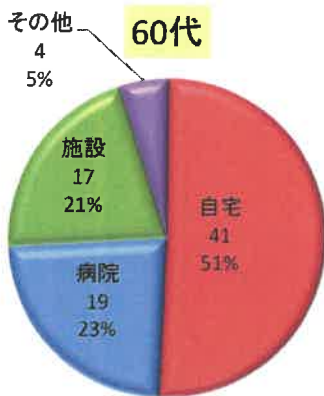


性別 60歳以上 235名  
(未記入1名)

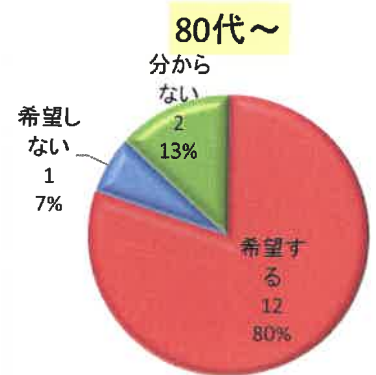
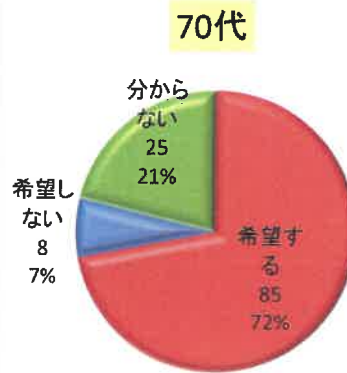
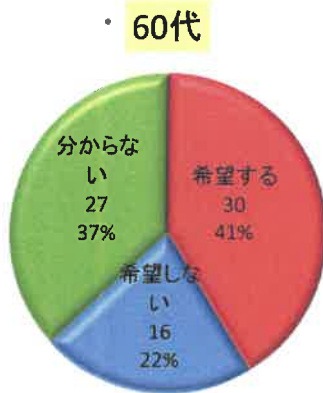


## <年代別集計>

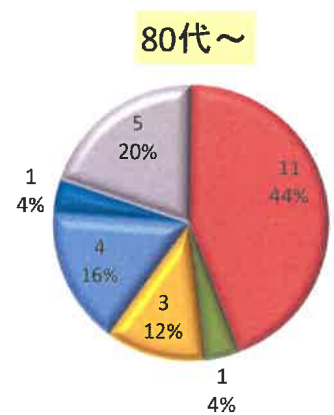
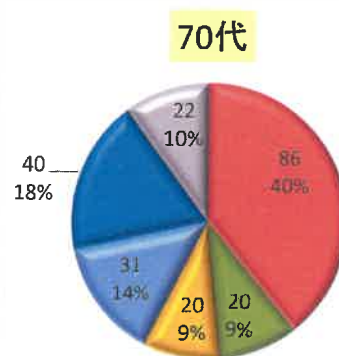
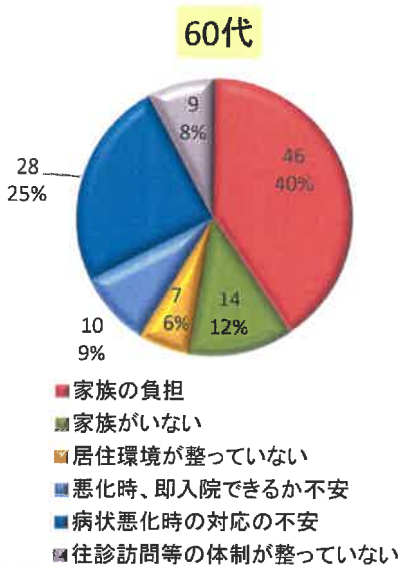
### < 人生の最期をどこで迎えたいか？ >



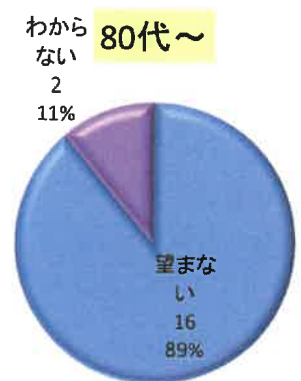
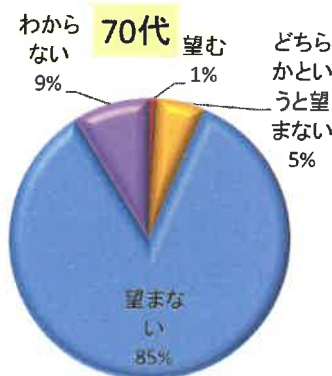
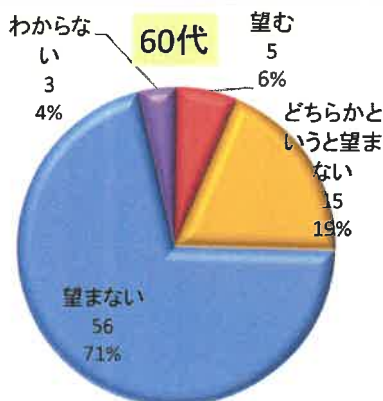
< 環境(訪問診療・看護・介護・緊急時の対応)が整えば自宅で最期を迎えたいか? >



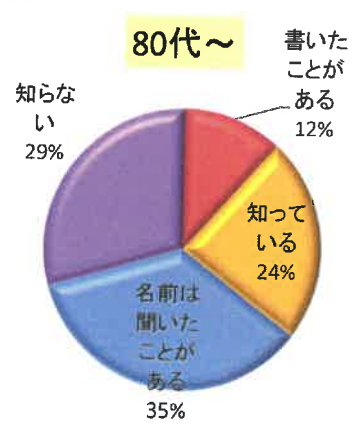
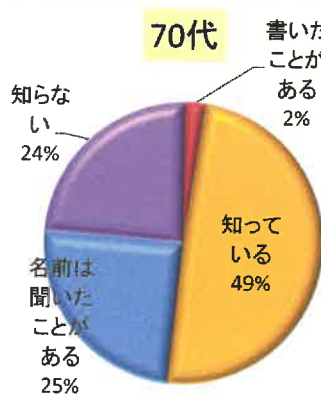
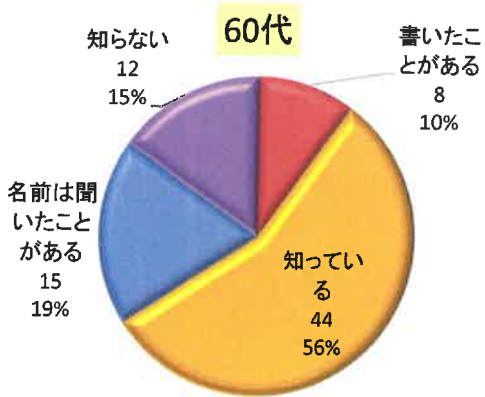
< 希望しても自宅で最期まで療養できない理由は? >



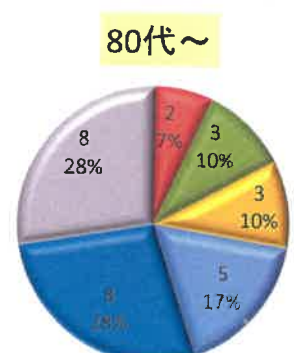
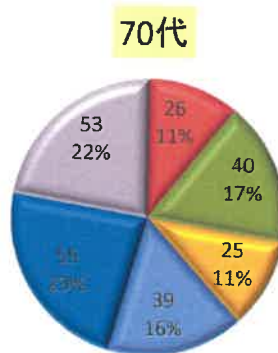
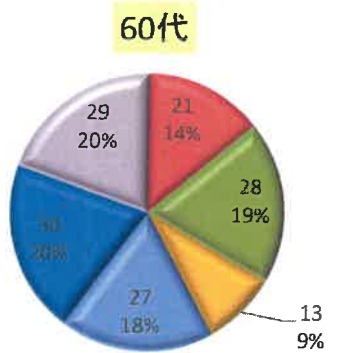
< 治る見込みのない病気で死期が迫っていると宣告された場合、延命処置は? >



< エンディングノートについて知っていますか？ >

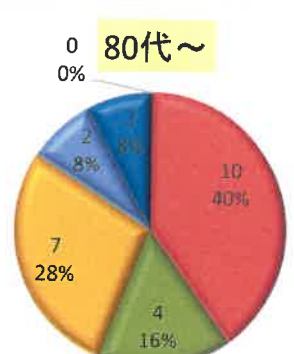
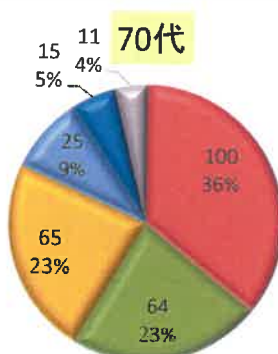
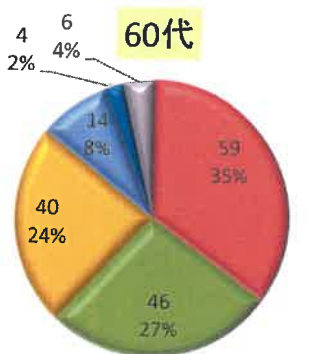


< 自宅での「みとり」が普及するために必要なことは？ >



- 介護休暇をとれる職場環境
- 医療介護職の連携強化
- 相談窓口の充実
- 本人家族が休める通所介護や短期入所の充実
- 悪化時に、即入院できる病院の存在
- みとり支援をする医療者が増える

< 自宅で「みとり」を進めるために、行政に力を入れてほしい事は？ >



- 家族の負担軽減のための介護サービス
- 医療・介護の連携強化
- 医療・介護費用の経済的支援
- 相談窓口の広報と充実
- 専門職に向けた情報提供
- 市民に向けた啓発活動